

# 図書管理システム「情報館」のご紹介

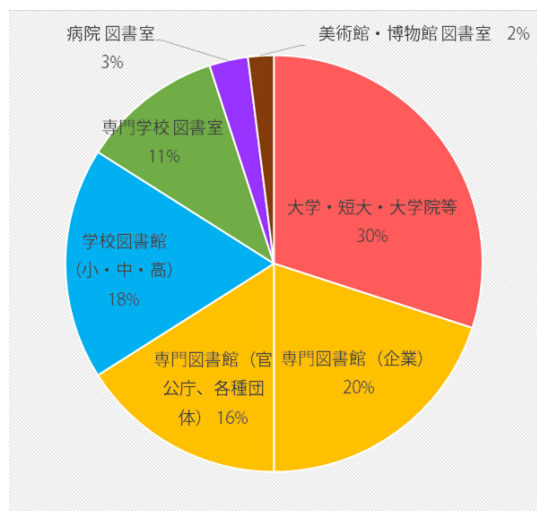
前田貴代

株式会社ブレインテック

「情報館」は、今年で発表から 30 年を迎える、中小規模図書館向け図書管理システムです。これまで累計の導入実績は 1,000 館以上、北は北海道から南は沖縄まで現在約 800 館の図書館でご利用いただいています。館種別に見ると、大学図書館が約 1/3、企業・研究所などの専門図書館が約 1/3、残りが学校図書館および専門学校図書室などとなっています。大学・専門学校では、看護・福祉・医療系学部学科を擁する学校が多くを占めているのも特徴です。

2019 年 4 月には新バージョン「情報館 ver.9」をリリースいたしました。

業務システムでは NACSIS-CAT ダウンロードデータに加え、国立国会図書館が 2018 年 1 月より提供を開始した「NDL-Bib」からのダウンロードデータ（JAPAN/MARC MARC21 フォーマット）の取込にも対応しています。また、図書館スタッフの日常業務を助ける「業務日誌」「スタッフ伝言」「業務通知」などの機能も新たに加わり、さらに便利になりました。



情報館ユーザーの館種内訳



スマホ表示



PC 表示

OPAC では、図書館からの情報発信ツールとしても使える「ブックリスト」などの便利な機能に加え、ウェブアクセシビリティ対応、レスポンシブデザイン（スマホ／タブレット／PC 表示切替）など公共性のあるウェブサイトが備えられるべきとされる要件を

十分に満たしています。OPAC のご利用にあたっては、環境に合わせてサーバー設置型（オンプレミス）とクラウド型を選ぶことができます。

小規模図書館向けには、「情報館」が月額 1 万円から使える、バージョンアップ・サポート料・OPAC までコミコミの「バリュープラン（使用料お支払い型）」が好評です。

お問い合わせはこちらまで ※デモンストレーション、トライアルは無料です



株式会社ブレインテック 営業グループ  
[sales@braintech.co.jp](mailto:sales@braintech.co.jp)